

医中誌Web・

PubMed（学内専用）から

論文を手元に取り寄せるまで



2025年4月
金沢医科大学図書館

KMU 文献取寄 - 電子ジャーナル

本学が契約しているデータベースでは、論文入手までを手助けしてくれる **リンクアイコン** があります。本学が契約しているか、フリーのものはこのアイコンをクリックすると、閲覧できる可能性があります！

《アイコン例》

契約あり



フリー あり



《医中誌の場合》

簡易表示 新しい順 30件

page 1 of 1472 GO

1 **細胞障害性抗癌剤治療後の患者に生じたporomatosisの3例(原著論文)**

宮崎 梨香子(兵庫県立がんセンター 皮膚科), 望月 亮佑, 中谷 祥子, 高井 利浩
日本皮膚科学会雑誌(0021-499X)134巻3号 Page603-614(2024.03)

1例目は75歳男性,中咽頭癌に対し化学放射線療法歴あり.2例目は51歳女性,右乳癌に対し化学放射線療法などの治療歴あり.3例目は66歳女性,右乳癌に対し化学療法歴あり.全症例で全身に紅色小結節が多発し,いずれも生検で汗孔腫の診断となった.poromatosisは汗孔腫が多発する原因不明の病態で,過去に腫瘍細胞においてYAP1-MAML2融合遺伝子が検出されたことが報告されており,自験例でも検出された.発症機序としてDNA修復機構の関与が推…**もっと見る**

Y402369095 <Pre 医中誌>, DOI : 10.14924/dermatol.134.603

KMU LINK **所蔵確認** **J-STAGE**

類似文献

リンクアイコンが表示される

床講義 メラノーマの治療(解説)

峯 康弘(愛媛大学 医学部皮膚科学)

皮膚科の臨床(0018-1404)66巻3号 Page303-311(2024.03)

文献概要>本邦でメラノーマ(悪性黒色腫)は一般にあまりなじみのない腫瘍であったが,1979年に国立がんセンター中央病院の石原和之先生が書かれた「ほくろのガン」という本によりその存在が知られるようになった。この本が出版された当時の推計値では年間のメラノーマの発生率は人口10万人あたり0.3人であったが,近年では人口10万人あたり1~2人程度と推計されており,増加傾向にある。欧米では本邦より発生率数十倍高く,米国で…**もっと見る**

011050014<Pre 医中誌>, DOI : 10.18888/hi.0000004454

KMU LINK **所蔵確認**

参考文献
類似文献

投稿論文

実践報告

脳神経外科患者における尿道カテーテル留置期間短縮や抜去後の発熱減少に向けた取り組み

齋藤友香理¹⁾, 石黒尚香子¹⁾, 由中実帆¹⁾, 金子朱美¹⁾, 新谷純正²⁾, 岩崎英之²⁾, 後藤秀倫³⁾, 高瀬正二⁴⁾, 川端真大⁴⁾

はじめに

Centers for Disease Control and Prevention (CDC) ガイドラインにおいて,尿道カテーテルの長期留置は感染のリスクが高くなるため,早期抜去が推奨されている。しかし,脳神経外科患者の特徴として,水分バランスの把握・管理だけでなく,尿意・膀胱コント

統一した基準作成が必要と考え,①当病棟における尿道カテーテル留置の実情調査および発熱との関連性を後方的に検討し,その結果をもとに「尿道カテーテル抜去アセスメントシート,抜去後の管理プロトコル(以下,アセスメントシート)」を作成し,②アセスメントシートを実際に運用し,有用性と課題点を検討した。これら2項目につき報告する。

本学が契約しているデータベースでは、論文入手までを手助けしてくれる **リンクアイコン** があります。本学が契約しているか、フリーのものはこのアイコンをクリックすると、閲覧できる可能性があります！

《PubMed(学内専用)の場合》

Review > Int Immunopharmacol. 2020 Jul;84:106535. doi: 10.1016/j.intimp.2020.106535.
Epub 2020 Apr 29.

Breast cancer: Biology, biomarkers, and treatments

Khadijeh Barzaman¹, Jafar Karami², Zeinab Zarei³, Aysooda Hosseinzadeh⁴,
Mohammad Hossein Kazemi⁵, Shima Moradi-Kalbolandi⁴, Elahe Safari⁶, Leila Farahmand⁷

Affiliations + expand
PMID: 32361569 DOI: 10.1016/j.intimp.2020.106535

Abstract

During the past recent years, various therapies emerged in the era of breast cancer. Breast cancer is a heterogeneous disease in which genetic and environmental factors are involved. Breast cancer stem cells (BCSCs) are the main player in the aggressiveness of different tumors and also, these cells are the main challenge in cancer treatment. Moreover, the major obstacle to achieve an effective treatment is resistance to therapies. There are various types of treatment for breast cancer (BC) patients. Therefore, in this review, we present the current treatments, novel approaches such as antibody-drug conjugation systems (ADCs), nanoparticles (albumin-, metal-, lipid-, polymer-, micelle-based nanoparticles), and BCSCs-based therapies. Furthermore, prognostic and predictive biomarkers will be discussed also biomarkers that have been applied by some tests such as Oncotype DX, Mamm αPrint, and uPA/PAI-1 are regarded as suitable prognostic and predictive factors in breast cancer.

Keywords: Antibody-drug conjugation systems; Breast cancer; Breast cancer stem cells; Immunotherapy; Nanoparticles; Treatment.

Copyright © 2020 Elsevier B.V. All rights reserved.
PubMed Disclaimer

International Immunopharmacology 84 (2020) 106535
Contents lists available at ScienceDirect
International Immunopharmacology
journal homepage: www.elsevier.com/locate/intimp

Breast cancer: Biology, biomarkers, and treatments

Khadijeh Barzaman^{a,b,1}, Jafar Karami^{a,c,1}, Zeinab Zarei^d, Aysooda Hosseinzadeh^b,
Mohammad Hossein Kazemi^{e,f}, Shima Moradi-Kalbolandi^b, Elahe Safari^{a,g,*}, Leila Farahmand^{b,*}

^a Department of Immunology, School of Medicine, Iran University of Medical Sciences, Tehran, Iran
^b Recombinant Proteins Department, Breast Cancer Research Center, Moayed Cancer Institute, ACECR, Tehran, Iran
^c Rheumatology Research Center, Tehran University of Medical Sciences, Tehran, Iran
^d Department of Biomaterials and Tissue Engineering, Breast Cancer Research Center, Moayed Cancer Institute, ACECR, Tehran, Iran
^e Student Research Committee, Department of Immunology, School of Medicine, Iran University of Medical Science, Tehran, Iran
^f FATMP Department, Breast Cancer Research Center, Moayed Cancer Institute, ACECR, Tehran, Iran
^g Immunology Research Center, Iran University of Medical Sciences, Tehran, Iran

ARTICLE INFO
Keywords:
Breast cancer
Treatment
Nanoparticles
Antibody-drug conjugation systems
Breast cancer stem cells
Immunotherapy

ABSTRACT
During the past recent years, various therapies emerged in the era of breast cancer. Breast cancer is a heterogeneous disease in which genetic and environmental factors are involved. Breast cancer stem cells (BCSCs) are the main player in the aggressiveness of different tumors and also, these cells are the main challenge in cancer treatment. Moreover, the major obstacle to achieve an effective treatment is resistance to therapies. There are various types of treatment for breast cancer (BC) patients. Therefore, in this review, we present the current treatments, novel approaches such as antibody-drug conjugation systems (ADCs), nanoparticles (albumin-, metal-, lipid-, polymer-, micelle-based nanoparticles), and BCSCs-based therapies. Furthermore, prognostic and predictive biomarkers will be discussed also biomarkers that have been applied by some tests such as Oncotype DX, Mamm αPrint, and uPA/PAI-1 are regarded as suitable prognostic and predictive factors in breast cancer.

クリックしてID・PWを聞かれたり、料金が表示されたりした場合は契約が無いので、閲覧できません。

そんな時は！

簡易表示 ▾ 新しい順 ▾ 30件 ▾ page 1 of 1472 GO > >|

1 **細胞障害性抗癌剤治療後の患者に生じたporomatosisの3例(原著論文)**

[宮崎 梨香子](#)(兵庫県立がんセンター 皮膚科), [望月 亮佐](#), [中谷 祥子](#), [高井 利浩](#)
[日本皮膚科学会雑誌](#)(0021-499X)134巻3号 Page603-614(2024.03)

1例目は75歳男性,中咽頭癌に対し化学放射線療法歴あり.2例目は51歳女性,右乳癌に対し化学放射線療法などの治療歴あり.3例目は66歳女性,右乳癌に対し化学療法歴あり.全症例で全身に紅色小結節が多発し,いずれも生検で汗孔腫の診断となった.poromatosisは汗孔腫が多発する原因不明の病態で,過去に腫瘍細胞においてYAP1-MAML2融合遺伝子が検出されたことが報告されており,自験例でも検出された.発症機序としてDNA修復機構の関与が推…[もっと見る](#)

Y403360006<Pre 医中誌>, DOI : 10.14924/dermatol.134.603

KMU LINK 所蔵確認 J-STAGE

類似文献

KMULINKアイコン
をクリック！

KMU 文献取寄 - KMULINKアイコンから

KMULINKアイコンをクリックすると、資料の入手方法を案内する画面が開きます。

1. 電子ジャーナルへ案内

この資料の入手方法をご案内します。

- ◆フルテキストを見る (リンク先状況によっては閲覧できない場合もあります)


 [メディカルオンライン ライブラリー](#)

- ◆冊子体を検索する

[OPACで冊子体を検索](#)

[WebCat Plus - 他図書館所蔵を検索します。](#)

- ◆その他の情報サイトから検索行う

 [Scirus - Title Search \(フルテキストが利用できる場合もあります\)](#)

- ◆文献複写依頼 (ILL) 本学に所蔵がある資料は依頼できません

 [ILL form \(文献複写依頼フォーム\)](#)

2. OPACの検索画面で冊子体を探す

書庫資料取寄依頼

3. 文献複写依頼

この資料の入手方法をご案内します。

◆フルテキストを見る (リンク先状況によっては閲覧できない場合もあります)

 [メディカルオンライン ライブラリー](#)

先ほどのリンクアイコンにもあった該当のデータベースが表示されます。契約がある場合は閲覧できる可能性があるため、一度確認してみてください。

◆冊子体を検索する

OPACで冊子体を検索

WebCat Plus - 他図書館所蔵を検索します。

電子ジャーナルが無かった場合、冊子体で本学に所蔵が無いかどうかを【OPACで冊子体を検索】をクリックして確認します。

KMU 文献取寄 - 冊子1

《下記の文献が金沢医科大学図書館にあるかないか調べる》
OPACで雑誌名を検索する。

コミュニティケア(2758-0008)17巻14号 Page63-65(2015.12)



コミュニティケア

コミュニティケア

東京：日本看護協会出版会, 1999-

雑誌

雑誌の所蔵

巻号、出版年を確認し、所蔵があるか確認する。

No.	所蔵巻号	請求記号	所在	所蔵年
1	10-21		図書館	2008-2019

文献取寄 - 冊子2

コミュニティケア(2758-0008)(17巻14号 Page63-65(2015.12))

雑誌の所蔵

No.	所蔵巻号	請求記号	所在	所蔵年
1	10-21		図書館	2008-2019

バックナンバーをさがす:



巻号情報

【バックナンバーをさがす】の下向きの三角をクリックし、巻号を入力する。

バックナンバーをさがす:

17

巻

14

号

年

月

表示

全てのバックナンバーを表示

[コミュニティケア\(2758-0008\)17巻14号 Page63-65\(2015.12\)](#)

所在を確認する。今回は「E棟-書庫」なので、【書庫資料取寄依頼】ボタンから申し込み手続きをしてください。

17巻14号 通号220 2015年12月1日
配架済

No.	所在	請求記号	資料ID	受入日	製本状態	貸出区分
1	E棟-書庫		16002761	2016/09/08	製本 17(8-14) 2015	製本雑誌-貸出可

所在 - E棟-和雑誌
E棟-洋雑誌

医学教育棟の図書室内

所在 - E棟-書庫

【書庫資料取寄依頼】ボタンより依頼
平日は翌日15時以降、土曜日・日曜日は月曜日の
15時以降図書館カウンターで受け渡し

◆文献複写依頼 (ILL) 本学に所蔵がある資料は依頼できません。

 ILL form (文献複写依頼フォーム)

電子ジャーナル、本学図書館内にも
なかった場合は、【文献複写依頼
フォーム】にて、他大学に文献のコ
ピーを依頼します。

Inter Library Loan
図書館間相互貸借

自館で所蔵していない資料を利用者に提供するため、資料の貸借や文献複写の依頼や受付を行う図書館間の相互協力サービス

図書館間の信頼関係の上に成り立っています。

- ・自館に所蔵がないことを確認
- ・依頼内容に不備がないか確認

KMU 文献取寄 - 文献複写依頼1

電子ジャーナルも学内所蔵の冊子体もない場合【一致する資料はありません。】と表示されます。そんな時は文献複写の依頼を行います。

金沢医科大学図書館
Kanazawa Medical University Library

通常検索 カテゴリ検索 詳細検索

ゲストさん
マイライブラリ

本学所蔵(0)

トップ画面 > 一覧画面

詳細検索条件 [条件再設定](#)

ISSN
09198121

絞り込み
絞り込みはできません。

詳細検索

一致する資料はありません。

①【元の論文を依頼】をクリック

②もし、①でフォームに移らなかった場合は右上にある【ゲストさんマイライブラリ】をクリック

ログイン画面にログイン名(学籍番号・職員番号)・パスワード(図書館に利用登録した時、お渡しした図書館システム利用登録証に記載しています。)

※パスワードが分からない場合は図書館までご連絡ください

半角英数で入力

ログイン

ログイン名

パスワード 利用登録証に記載

ログイン

利用者身分
所属
誓約者: 様

〒920-0293
石川県河北郡内灘町大学1-1
金沢医科大学図書館

<<取扱い注意>>

図書館システム利用登録証

下記のとおり、図書館システム利用のため、利用者IDと初期パスワードを交付します。

利用者ID	*****
ログイン名	教職員番号か学籍番号
初期パスワード	図書館発行

KMU 文献取寄 - 文献複写依頼3

文献の複写依頼：入力

入力 確認 完了

論文著者名 (必須)

論文名 (必須)

誌名(書名) (必須)

巻号 (必須)
巻(号)の形式で入力してください。例:1巻2号の場合 1(2)

出版年 (必須)

ページ (必須)

出版社

ISSN

ISBN

利用者

メールアドレス

支払区分

通信欄

①【元の論文を依頼】をクリックした場合、ログインしたら、文献情報が自動的に依頼フォームに反映されます。

・書誌情報が合っているか必ず確認

KMU 文献取寄－文献複写依頼4

ゲストさん
マイライブラリ

②マイライブラリからログインした場合、メニュー画面になります。【新規申し込み】の【複写を依頼】をクリックすると依頼フォームになります。

 借用中の資料 借用中の資料はありません。	 入手待ちの資料 入手待ちの資料はありません。	 新規申し込み 複写を依頼 信用を依頼 書庫資料取寄依頼
 ブックマーク ありません。	 履歴 履歴情報はありません。	

文献の複写依頼：入力

入力 確認 完了

論文著者名 (必須)	神尾 有佳
論文名 (必須)	整形外科術後包帯交換場面における看護師・医師の感染予防行動遵守への取り組み
誌名(書名) (必須)	日本感染看護学会誌
巻号 (必須)	15(1) 巻(号)の形式で入力してください。例:1巻2号の場合 1(2)
出版年 (必須)	2019
ページ (必須)	1-4
出版社	
ISSN	13479857
ISBN	

③文献情報の入力

- ・通常は自動的に必要事項が入力される。

- ・入力されない場合
データベースから必要事項(必須のところ)をコピーし、貼りつけ

KMU 文献取寄 - 文献複写依頼6

④

支払区分

公費

私費

選択

支払区分	
公費	・公費支払い申請書を提出された方
私費	・学生 ・科研費（一旦、私費での支払いをお願いします。）

⑤

通信欄

速達希望や
メールアドレス変更など

本学の所蔵の有無の確認
はできていますか？

依頼内容が正しいか確認
できていますか？

⑥

確認に進む

⑦

この内容で依頼

	私費	公費
到着・料金通知	メール	
受取方法	カウンター	メールボックス経由
支払い	文献と引き換え	申請されている予算からの支払い
留意事項	到着した文献は、遅くとも2週間以内には、受け取りをお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて公費でILLを依頼される場合、公費利用申請書のご提出をお願いします。 ・科研費は、私費で支払いをお願いします。

	目安	私費	公費
国内	到着日数	3日～1週間、場合により2～3週間	
	料金	350～500円/1文献	
国外	到着日数	受付不可	約2日
	料金	受付不可	為替レートにより変動がありますが、1,800～2,000円